

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）							3 事業評価（Check）										
基本政策		第6章 基本構想の推進のために					事業の実施状況		B		A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず						
施策領域		第3節 シティプロモーション					事業の必要性 【市民ニーズ】		B		A：高まっている B：変わらない C：薄れている						
施策項目		施策1 選ばれるまちになるためのシティプロモーションの推進					事業の効率性 【見直す余地】		B		A：余地はない B：余地はある						
事業		シティプロモーション推進					施策への貢献度		A		A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い						
所属		シティプロモーション課					選ばれるまちになるため、新座ならではの魅力を発信する事業を推進し、本市の認知度向上に努めた。【成果の一例】グリーンツーリズムの一翼を担うバンパーボーイズ、美化・ピカ隊が清掃している野火止用水を、市観光ボランティアが802人を案内し、本市の魅力の一端をPRした。◆平林寺半僧坊大祭については、同寺伝統的行事の開催に併せ、賑わいを創出する事業（露店・植木市）を実施し、前年度とほぼ同数の約5,000人の来訪者があった。◆シティプロモーション推進懇話会（本市ターゲットの30代の子育て世代、大学生で編成）の協力を得て市内を紹介する「GO!GO!にいざ」を作成。冊子の活用を通じ、市内回遊人口の増加を期待する。										
事業概要		新座市のブランドイメージの向上や確立につながる取組を推進し、地域資源をいかした施策を展開する。また、市の魅力を効果的に発信することで選ばれるまちとなり、転入数を増加させる取組や関係人口・交流人口を創出する取組を進める。															
実施形態		■市が直接実施 □一部委託 □全部委託・指定管理 □その他															
実施根拠		□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度															
根拠法令等		なし															
2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）										
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の方向性		Ⅱ Ⅰ：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了			
予算・決算		予算現額（円）		4,569,000		4,002,000											
		財源内訳		一般財源		4,569,000		4,002,000									
				特定財源等		0		0									
		支出済額（円）		4,136,493		3,636,406											
		不用額（円）		432,507		365,594											
執行率（％）		90.53%		90.86%								今後の取組方針					
実施内容		・シティプロモーション推進懇話会の開催、新座市紹介マップ「GO!GO!にいざ」の考案、市制施行55周年記念事業の考案 ・シティプロモーションアンケートの実施 ・すぐそこ新座まちあるきマップの作成（増刷のみ） ・グリーンツーリズム事業の実施 ・ゾウキリンを活用した事業の展開 ・平林寺半僧坊大祭併催事業の実施															
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度							
活動指標・成果指標		指標名		単位													
		シティプロモーション推進懇話会開催回数		回		3		2									
		バンパーボーイズ活動回数		人		22		20									
		野火止用水美化・ピカ隊活動回数		回		9		10									
		平林寺半僧坊大祭併催事業参加人数		人		5000		5000									

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）

基本政策	第6章 基本構想の推進のために
施策領域	第3節 シティプロモーション
施策項目	施策2 新座ならではの魅力づくり
事業	ふるさと納税促進
所属	シティプロモーション課
事業概要	本市へのふるさと納税を促進するとともに、本市の魅力を発信することで更なる地域活性化を図るため、一定の条件を満たす寄附者に対し、返礼品を送付する。あわせて、ふるさと納税の使い道を具体的に示すことで寄附を募るガバメントクラウドファンディングを実施する。
実施形態	■市が直接実施 ■一部委託 □全部委託・指定管理 □その他
実施根拠	■国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 □市独自の制度
根拠法令等	地方税法

3 事業評価（Check）

事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
事業の必要性 【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
事業の効率性 【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある
施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
事業の成果・分析	ふるさと納税は令和元年以降、全国の寄附受入額が年々増加し注目度は高まっている一方で、寄附は一部の自治体に集中している傾向があり、寄附額が伸び悩んでいる自治体が多く、本市も例外ではない。令和5年10月のふるさと納税制度改正、更に本市で寄附額が最も多かった返礼品が提供できなくなったことにより令和5年度の寄附額は大幅に減少した。令和6年度に入っても横ばいで推移。令和6年10月の国指定期間以降、上記の返礼品が再び追加されたことにより寄附額が増加した。 また、令和6年10月から市制施行55周年記念事業を目的としたクラウドファンディングを開始したことから、一般寄付金への寄付が増加した。	

2 事業実績（Do）

年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額（円）		20,945,000	18,004,000			
	財源内訳	一般財源	20,945,000	18,004,000			
		特定財源等	0	0			
	支出済額（円）		12,681,868	15,348,211			
	不用額（円）		8,263,132	2,655,789			
	執行率（％）		60.55%	85.25%			
実施内容			ふるさと納税の受け入れ及びガバメントクラウドファンディングを実施した。 新規返礼品：15品（いちごのジェラート、再生パソコン（一時取り下げていたが再開）ほか） ガバメントクラウドファンディング：新座市制施行55周年記念プロジェクト（市制施行55周年の記念事業を支援していただくため寄附を募っている。令和7年12月26日まで受付）				
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	指標名	単位					
活動指標・成果指標	寄附額	円	35,204,864	36,572,610			
	寄附件数	件	1005	1113			

4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）

今後の方向性	Ⅱ	I：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了
今後の取組方針	返礼品開拓により寄附額を伸ばしている自治体もあることから、寄附額を増加させるため新たな返礼品開拓に取り組み、ふるさと納税制度を通じて本市の魅力を発信する。	

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）							3 事業評価（Check）														
基本政策		第6章 基本構想の推進のために					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず											
施策領域		第3節 シティプロモーション					事業の必要性 【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている											
施策項目		施策2 新座ならではの魅力づくり					事業の効率性 【見直す余地】		A	A：余地はない B：余地はある											
事業		祭り振興補助					施策への貢献度		B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い											
所属		シティプロモーション課					事業の成果・分析		令和6年度は柳瀬川ふれあい祭りが休止であったが、新座快適みらい都市会議が開催した第9回大江戸新座まつりについては、警備及び会場設営の経費を補助することで、安全に実施することができ、にぎわいの創出による地域振興に資することができた。 イベント参加者数75,000人は、商工祭と同等規模であることから市内外多くの方から注目されているイベントである。												
事業概要		市内で開催される祭りを振興し、地域活性化を図るため、市民等が主体で祭りの企画・運営を行う実行委員会等に対し、補助を行う。																			
実施形態		■市が直接実施 □一部委託 □全部委託・指定管理 □その他																			
実施根拠		□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度																			
根拠法令等		新座市祭り振興補助金交付要綱																			
2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）														
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の方向性		Ⅲ Ⅰ：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了							
予算・決算	予算現額（円）		1,300,000		800,000																
	財源内訳	一般財源	1,300,000		800,000																
		特定財源等	0		0																
	支出済額（円）		1,300,000		800,000																
	不用額（円）		0		0																
執行率（％）		100.00%		100.00%																	
実施内容		新座快適みらい都市会議に対し、警備及び設営に関する経費に対し補助金を交付した。 新座快適みらい都市会議補助金 800,000円 当初、柳瀬川ふれあい祭り実行委員会への補助も予定していたが、令和6年度は開催が無かったため、補助をしていない。					今後の取組方針					市内で開催される祭りを振興し、地域活性化を図るため、市民等が主体で祭りの企画・運営を行う実行委員会等に対し継続して補助金を交付する。 将来的に自立した祭り運営を目指せるよう、サンセット方式による補助の仕組みを検討する。 サンセット方式：補助制度や事業等について、あらかじめ終期を条例や規則、要綱等で明示しておき、一定期間後に廃止または見直しを行う仕組みのこと									
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度											令和8年度		令和9年度		
	指標名	単位																			
活動指標・成果指標	件数	件	2	1																	